令和４年 12 月
工学部・工学研究科学生支援係

令和４年度『特に優れた業績による返還免除制度』申請要領

返還免除制度概要

大学院において第一種奨学金の貸与を受けた学生であって、その課程在学中に特に優れた業績をあげた者として 日本学生支援機構が認定したものは、貸与期間終了の時において、その奨学金の全部又は一部の返還が免除されます。

特に優れた業績による返還免除の認定は、大学院を置く大学の学長が学内選考委員会の審議に基づき推薦する者について、その専攻分野に関する論文その他の文部科学省令で定める業績を総合的に評価することにより行われます。

対象(申請資格)

2022 年度中に在籍する各課程において修了、満期退学、短縮修了、奨学金辞退または予定の方で、在籍する各課程での第一種奨学金奨学生が対象となります。

返還免除制度は、貸与終了(予定)年度に申請する必要があります。

申請受付期間

≪申請受付日時≫

■博士後期課程(DC)

令和 5 年1月 18 日(水)10:00～15:30 ※12:00～13:00 除く

会 場: ES 総合館 3 階 工学部教務課 学生支援係

※受付当日は学生証をお持ちください

※18 日に予定が合わない場合は、書類提出日【以前】に教務課学生支援係までメールで連絡の後、教務課学生支援係窓口まで書類を提出してください。

※18 日以降はいかなる理由であっても書類を受理できません。

■博士前期課程(MC)

全日 10:00～15:30 ※12:00～13:00 除く

令和 5 年1月 20 日(金) 機械・マイ・航空・エネ・総エネ・土木

1月 23 日(月) 有高・応化・生物・デザ・プロ・シス

1月 24 日(火) 応物・物質・電気・電子・情報

会 場: ES 総合館 1 階 会議室

※受付当日は学生証をお持ちください
※混在を避けるために専攻毎に書類提出日を指定しています。
※指定日に予定が合わない場合は、異なる専攻の受付日にお越しください。
※20 日、23 日、24 日のいずれも予定が合わない場合は、書類提出日【以前】に教務課学生支援係までメールで連絡の後、書類を提出してください。
※24 日以降はいかなる理由であっても書類を受理できません。

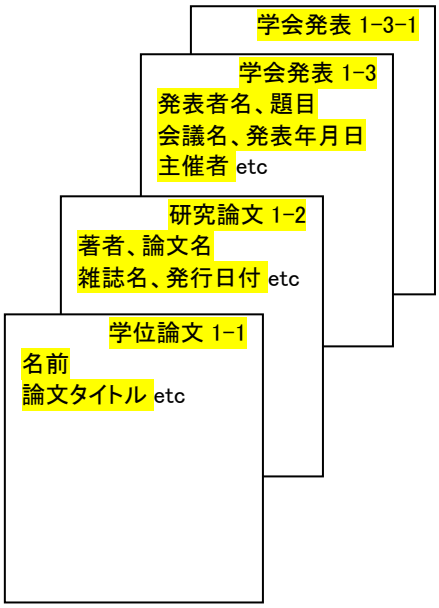
提出方法

（1）(2)様式は工学 HP からダウンロード、(4)は提出会場に設置してあります。
ダウンロード先： https://www.engg.nagoya-u.ac.jp/current/
工学 HP＞在学生の方へ＞経済支援関係、奨学金（JASSO）＞（大学院・第一種奨学生対象）令和 4 年度 特に優れた業績による返還免除制度について

下記図のとおり書類を整え、申請書類用封筒（正本用・複写用）にそれぞれ封入の上、提出してください。

	書類種別
①	業績優秀者返還免除申請受付用紙 兼 申請時チェックリスト
②	令和4年度 業績優秀者返還免除申請書（様式1）
③	特に優れた業績を証明する資料
④	申請書類用封筒（正本用・複写用）2部 ※会場にて配布します

STEP 1　書類③特に優れた業績を証明する資料の作成例を参照にして準備



① 本要項3、4ページにある注意事項の全ての項目を必ず確認してください。 例年注意事項を確認せず不備となる学生が多くいます。確認出来たらチェックボックスにチェックをしてください。
② 資料番号順に並べてください。1つの資料が複数枚にわたる場合はそれぞれが同様のものであることがわかるように枝番をつけてください。
③ 本人氏名、業績事項が分かる箇所にマーカーを引いてください。
④ 資料番号順に書類を並べてください。
⑤ 原則受付期日までに全ての書類を提出する必要があります。やむを得ない事情で「特に業績を証明する資料」の提出が受付期日に間に合わない場合、別途「業績優秀者返還免除申請受付用紙兼申請時チェックリスト不足書類リスト」に記載をしてください。

STEP 2　業績優秀者返還免除申請受付用紙兼申請時チェックリストを準備

① 両面印刷してください。
② 学生番号、氏名等を記入してください。
特に今後の連絡は、記載された連絡先（電話番号、メールアドレス）に連絡しますので間違いのないようにしてください。
③ 提出書類チェックリスト、奨学金貸与期間、不足書類の提出について、確認事項を確認の上、チェックボックスにチェックを入れてください。

STEP 3　封筒に入れる

正本用、複写用合計2部を準備してください。
受付日当日、会場にそれぞれの封筒を準備していますので、必要事項を記入の上、それぞれの封筒に申請書類を封入してください。

提出書類

1.「業績優秀者返還免除申請書」(様式1)

すべての注意事項に必ず目を通していただき、不備や漏れがないようにしてください。

No.	注意事項	チェック
1	申請書記入例を必ず確認した上で、記入例に従って記載してください。	☐
2	現在、在籍している課程の業績が評価対象となります。 (博士前期課程の学生は学部在籍中の業績は評価対象外です。 博士後期課程の学生は学部・博士前期課程の業績は評価対象外です。)	☐
3	②の条件かつ、第一種奨学金の貸与を受けている期間が評価対象となります。 奨学金貸与期間を必ず確認してください。貸与期間は、日本学生支援機構スカラネット PS で確認できます(https://scholar-ps.sas.jasso.go.jp/mypage/) 例: 博士前期課程在籍期間が 2021 年 4 月から 2023 年 3 月、第一種奨学金貸与期間が 2022 年 4 月から 2023 年 3 月の場合、業績評価対象期間は 2022 年 4 月から 2023 年 3 月となります。	☐
4	申請書の様式の改変は書類不備となり、申請を受け付けることができません。 行数が不足する場合は行挿入してもかまいません(また不要な行を削除しても構いません)が、表の形式及び記入項目を変更しないよう注意願います。また、行数を挿入したことでページ数が増える場合は、ページ上部にページ番号を付してください。	☐
5	両面刷りで使用してください。 また、文字が見切れていないか、印刷プレビュー等で確認してください。	☐
6	資料番号欄は、【業績項番】ー【枝番】で附番ください。	☐

2. 在籍する課程(前期課程又は後期課程)での「特に優れた業績を証明する資料」

すべての注意事項に必ず目を通していただき、不備や漏れがないようにしてください。

No.	注意事項	チェック
1	下記情報について、客観的にわかる形で整えて提出してください。 ・発表者、著者名(申請者の氏名) ・論文タイトル(題目) ・発表した媒体(大会名・雑誌名など) ・発表時期、発行日(発表月・巻など) ・発表内容(論文要旨や概要、ポスター等、1、2枚程度)	☐
2	論文・プログラム全体の写しは不要です。①の情報が複数頁に分かれる時は、各頁のコピーを複数枚組み合わせるなどして、1つの業績を証明する資料としてまとめてください。	☐
3	本要項 4 ページ「学内外における教育研究活動等に関する業績の評価項目」を確認の上、書類を準備してください。	☐
4	資料番号を「右上」に付番してください。複数枚の場合は、それぞれが同様のものであることがわかるよう枝番をつけてください。提出時には番号順に並べてください。	☐
5	資料番号は、業績優秀者返還免除申請書に記載した番号と一致するように付番してください。	☐
6	業績優秀者返還免除申請書に記載した業績記載事項(本人氏名、名称・日付等)が分かる箇所にラインマーカーを引いてください。	☐
7	業績を証明する資料はA4サイズで添付してください。	☐
8	客観的な資料で証明できない業績は、返還免除申請においては業績として認められません。	☐
9	ホチキスの使用は厳禁です。	☐
10	「成績証明書」は提出不要です。(「授業科目の成績」を特に優れた業績として申請書に申告のある場合のみ教務課で用意します)。その場合は、成績証明書に通し番号を6－1としてください。	☐

＜学内外における教育研究活動等に関する業績の評価項目＞

業績の種類	業績を証明する書類の＜具体例＞	注意事項等
学位論文 （修士論文、博士論文）	論文要旨（A4、様式任意）	論文要旨のみの提出してください。学位論文全体の写しの提出は不要です。論文そのものが完成している必要はありません。
研究論文	＊学会誌の表紙や目次等 ＊掲載論文の写しまたは要旨等、掲載された論文の内容がわかるもの ＊受理証明、Web の投稿完了画面、メールの投稿完了通知等（投稿・審査中の場合はそのことがわかるもの） （申請者・著者名、論文名、学術雑誌名、巻・号数、論文掲載ページ、発行年月日、その他情報（「投稿・審査中」「掲載決定（予定）」の記載事項および、自身の論文が掲載されていることがわかるもの）	**A4 で印刷すること。** **複数枚になってもかまいません**ので、全ての記載事項が分かる資料を提出してください。 申請書に記載した業績記載事項についてラインマーカーを引いてください。
学会での発表 （表彰・受賞を含む）	＊学会プログラムの表紙や氏名が掲載されている箇所等 （発表者名、題目、会議名、主催者名、発表年月日、表彰・受賞等の事項、および自身が発表者となっていることがわかるもの） ＊発表予定の場合はそのことがわかるもの （学会プログラム、演題登録メール、公演番号通知メール等） ＊発表の内容がわかるもの （概要、アブストラクト、パワーポイントのスライド等） ＊表彰状（表彰・受賞の場合）	**A4 で印刷すること。** **複数枚になってもかまいません**ので、全ての記載事項が分かる資料を提出してください。 申請書に記載した業績記載事項についてラインマーカーを引いてください。
発明	＊発明の名称がわかるもの ＊番号（出願番号・公開番号・登録番号）がわかるもの ＊自身が発明者となっていることがわかるもの	
授業科目の成績 （博士前期のみ）	＊成績証明書については大学が用意します	＊評価項目とする場合、申請書に『授業科目において優秀な成績を残した。単位を取得した授業科目の〇割がＡ以上の評価であった。』と、いった記載が必要です。
ボランティア活動	自身がボランティア活動等を行っていたことを第三者（指導教員の証明（任意）公的機関からの委嘱状等）が証明または評価しているもの。	研究分野に関連するボランティアのみ。活動内容や活動期間等、客観的な証明が必要。写真や新聞記事では受付不可。

オンライン面接の実施について【博士後期課程のみ】※博士前期課程の学生は書類選考のみです。

博士後期課程の書類選考通過者に対して選考委員会によるオンライン面接を実施します。

＜面接予定日＞※変更の可能性有

令和 5 年 2 月 24 日（金）午前 （Teams を利用）

※実施時間等の詳細は書類選考通過者に通知します。連絡が面接日直前になることもありますのでご了承ください。
※2 月 22 日（水）に接続テスト（5 分程度）を実施予定です。
※工学研究科から返還免除候補者として推薦されるには、指定日の面接審査が必須です。

留意事項

① **提出後に自己都合による修正や差し替えはできません。**
誤字・脱字・印刷時に文字が切れていないか、資料に不足がないか等を提出前に入念に確認を行い、修正が必要ない状態で提出ください。不備があった業績は審査対象とならないことがあります。

② **受付期日(期間)以降、いかなる理由であっても受理はいたしません。**

③ **書類提出日以降、記入した内容と事実が相違するような状況が発生した場合、必ず教務課学生支援係まで至急ご相談ください。**
(例:書類作成時は、修了予定であったが、満期退学へと変更となった場合等)

④ **新型コロナウイルス感染症の影響により、貸与期間中に業績を挙げることができず、やむを得ず(研究計画の遅延等)在学延長を予定している学生に限り、特例として令和 6 年度の申請が可能です。**
該当する学生や詳細の確認を希望する学生については、令和 5 年1月 11 日(水)までに問い合わせ先メールアドレス宛ご連絡ください。(やむを得ない事情については、指導教員に確認します。)

⑤ **工学研究科からの推薦者となっても、必ずしも返還免除が認められるとは限りません。**
工学研究科から推薦された後、全学の選考委員会での選考を経て大学から日本学生支援機構へ推薦され、日本学生支援機構において認定者(採用者)が決定されます。

⑥ **申請を取りやめる場合は、必ず教務課学生支援係までご連絡ください。**

選考結果通知について

最終的な選考結果は返還免除が認められた者にのみ、令和5年7月下旬頃に日本学生支援機構から直接機構に届け出ている住所へ認定通知が郵送されます。
卒業後に現住所が変更となる場合は、返還のてびき(20 頁)を参照のうえ必ず2023年5月末までに機構に届け出てください。
※**機関保証制度加入の方**は、全額免除となった場合のみ保証料の返金があります。
免除認定が確定後、後日(公財)日本国際教育支援協会より返金についてのお知らせが届きます。

問い合わせ

工学部・工学研究科教務課学生支援係(ES総合館 3 階)
問い合わせ先;kou-shien3@adm.nagoya-u.ac.jp

※質問等は、申請前に問い合わせてください。
※件名に必ず【返還免除】とし、学生番号をタイトルに明記の上、送信ください。
(例:【返還免除】〇〇〇について問い合わせ (学生番号)
※問い合わせは窓口、メールにて受け付けます。電話での問い合わせは受け付けません。